

短茎・早生のアマランサス品種

ニューアステカ

A New Grain Amaranth Variety "New Aztec"

アマランサスは、南米アンデスの人々によって数千年前から利用されていた作物です。その種子は米や麦より**蛋白質**、**ミネラル**、**脂質**などに富み、必須アミノ酸である**リジン**の**含有量が多く**、栄養的に優れた新しい食材として注目されています。

日本に適した アマランサス品種の開発

メキシコから日本に導入されたアマランサスは草丈が2mもあり、収穫作業が大変困難でした。そこで、日本に適した、倒伏しにくく機械収穫に適性の高い品種「**ニューアステカ**」を開発しました。

ニューアステカの特性

- 草丈が約130cmで原品種に比べて**極短茎**である。
- 開花が原品種より約10日早く、**台風シーズン前**の**収穫が可能**。
- **機械収穫**に適性が高い。

開花期と収穫期（茨城県つくば市）

	出蕾期	開花期	収穫期
ニューアステカ	6.29	7.4	8.6
(原品種) メキシコ系	7.10	7.13	8.12



新品種「ニューアステカ」（左）
と原品種「メキシコ系」（右）
収穫期の草姿

生産力検定試験結果（茨城県つくば市）

	草丈 (cm)	茎径 (cm)	花穂長 (cm)	子実重 (kg/㎡)	千粒重 (g)
ニューアステカ	133	2.0	43	19.7	0.81
(原品種) メキシコ系	205	2.4	53	19.5	0.66

作物研究所 畑作物研究部

問い合わせ先：企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp http://nics.naro.affrc.go.jp/